

蔵 in ガルテン川越 グリーンツーリズム拠点整備計画概要版

目 次

1	基本コンセプト-----	2
2	主な目標-----	3
3	機能整備の方針-----	3
4	主な整備内容-----	4
5	グリーンツーリズムの拠点施設整備と 伊佐沼周辺施設等との連携----	5
6	「蔵 in ガルテン川越」における配置案-----	6
7	グリーンツーリズム拠点施設（農業ふれあいセンター）の 改修整備イメージ----	7
8	概算事業費の試算-----	8
9	想定事業スケジュール-----	8

1 基本コンセプト

「蔵inガルテン川越」とは

「蔵inガルテン川越」は、人口減少と地域経済縮小の克服に向けて、平成28年1月に策定された、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けのある8つのプロジェクトの一つで、農業ふれあいセンターを中心に、伊佐沼や田園など周辺の自然的景観や農業とのふれあいをコンセプトとしたグリーンツーリズムを推進するものです。

「蔵inガルテン川越」が目指す事業効果

「蔵inガルテン川越」の事業効果として、「農のあるまち川越」での生活（体験）を市民が楽しみ、市民の市に対する愛着の高まりにつなげていくこと、また、「農のあるまち川越」での体験を来訪者に提供し、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。

こうした市民の市に対する愛着の高まりと地域経済の活性化を事業効果として目指し、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の将来都市像の実現につなげたいと考えます。

コンセプト

「蔵inガルテン川越」では、川越で暮らす人にも、川越を訪れる人にも、もう一つの楽しみ方、「農のあるまち川越」を体験してもらう。これを実現するために、本市の特性を生かした楽しい農業体験や食体験ができる空間としての「川越を楽しむ農と食の体験パーク」をコンセプトとします。

コンセプト

川越を楽しむ農と食の体験パーク

川越で暮らす人にも、川越を訪れる人にも、もう一つの楽しみ方、「農のあるまち川越」を体験してもらう。

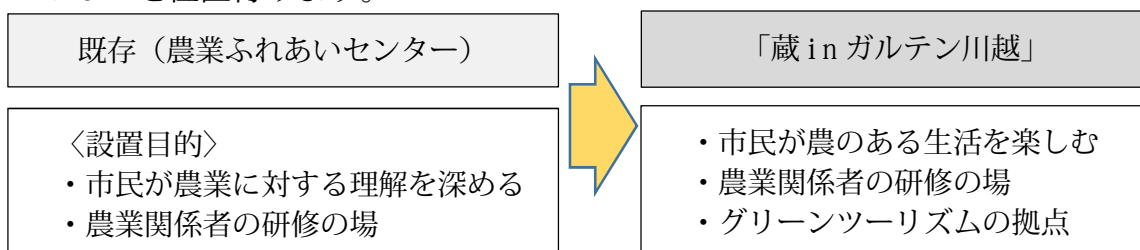
2 主な目標

事業の展開により、「蔵 in ガルテン川越」の主な関連施設における年間利用者数の目標は次のとおりです。

	平成 28 年度	平成 34 (2022) 年度
農業体験	1,403 人	4,000 人 (うち市外 1,600 人)
市民農園	35,360 人	52,000 人
バーベキュー	—	9,200 人
全体 (農産物直売所や古民家レストラン等関連施設を含んだ目標)	210,607 人	350,000 人

3 機能整備の方針

- 「蔵 in ガルテン川越」では、体験事業、教育・学習、交流・イベント、レクリエーション、講習・研修、情報・案内、サービス、防災といった機能の充実を図ります。
- 「蔵 in ガルテン川越」では、「農業関係者の研修の場」を継続して掲げるとともに、新たに「市民が農のある生活を楽しむ」と「グリーンツーリズムの拠点」の3つを位置付けます。



＜充実を図る機能メニュー＞

導入機能	具体的機能
体験事業	農業体験、食体験
教育・学習	教育ファーム
交流・イベント	祭り・イベント、地域交流
レクリエーション	観賞他、散策、観察学習
講習・研修	農園サポート、農商工交流
情報・案内	情報発信、受付案内
サービス	物販、飲食・喫茶・休憩、宿泊、交通手段
防災	防災拠点（避難所）

4 主な整備内容

○農業ふれあいセンター改修整備

「蔵 in ガルテン川越」では、農業ふれあいセンターがグリーンツーリズムの拠点施設としてより魅力のある施設となるために、屋根などの修繕も含めて改修をします。

(主な改修整備内容)

- ・受付・情報スペースの設置
- ・休憩スペースの確保
- ・農業体験等の利用者のための設備改修
- ・食体験事業のための施設改修
- ・屋根の改修及び施設の長寿命化対策 等



○バーベキュー施設整備

収穫体験での採れたて野菜や川越産農産物を食材にしたバーベキューを楽しむ食体験施設として「大屋根広場（仮称）」を野外に設けます。



○体験農園拡張整備

農業体験事業を増やしていくために、体験農園の面積を拡大します。



○市民農園拡張整備

市民農園の面積を増やし、区画数を現在の 340 区画から 500 区画程度とします。



○キャンプスペース整備

日帰りと宿泊両方の体験ができるキャンプスペースを設けます。

○その他

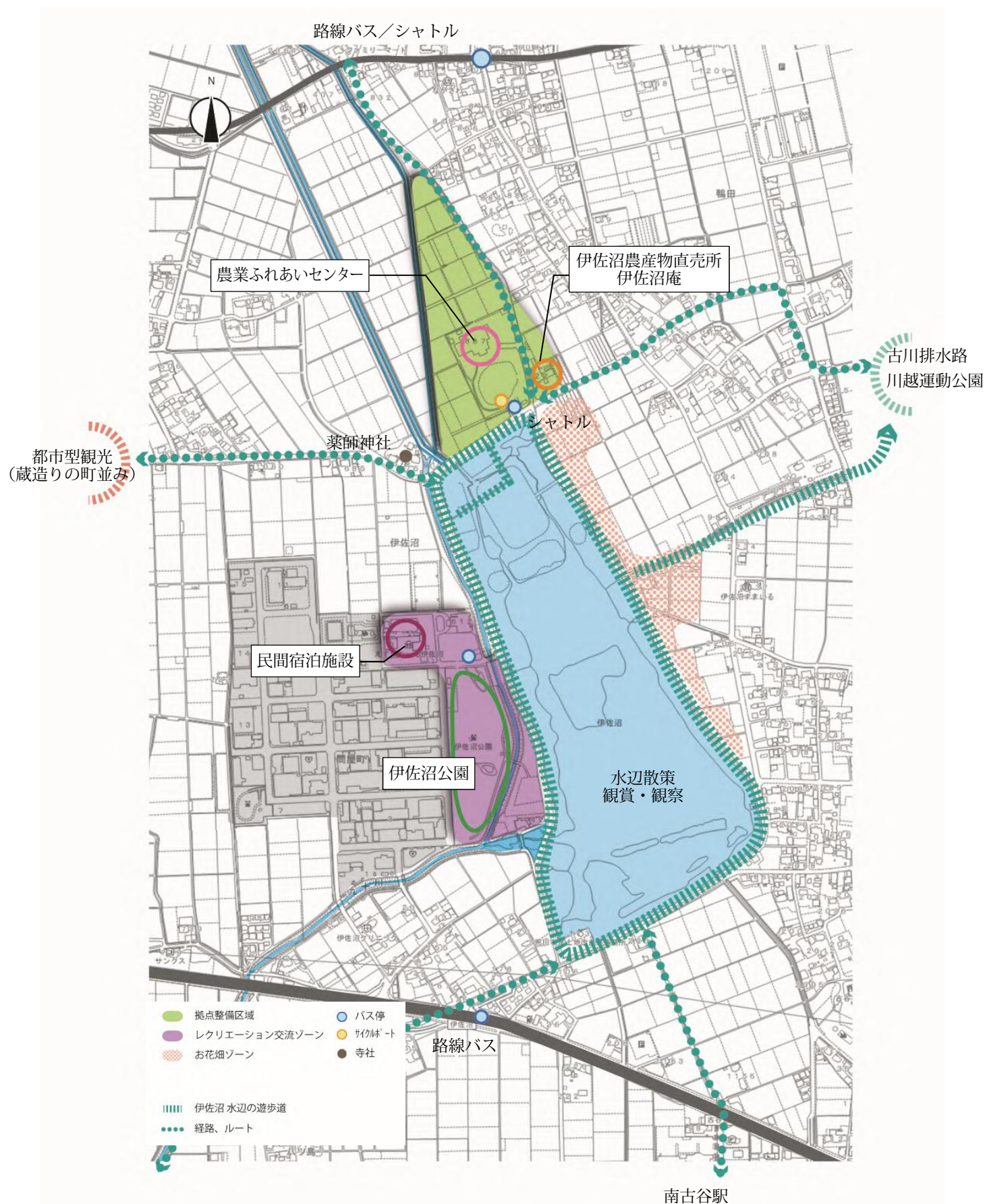
- ・駐車場の増設整備
- ・自転車シェアリング施設整備 等

○周辺連携施設の整備概要

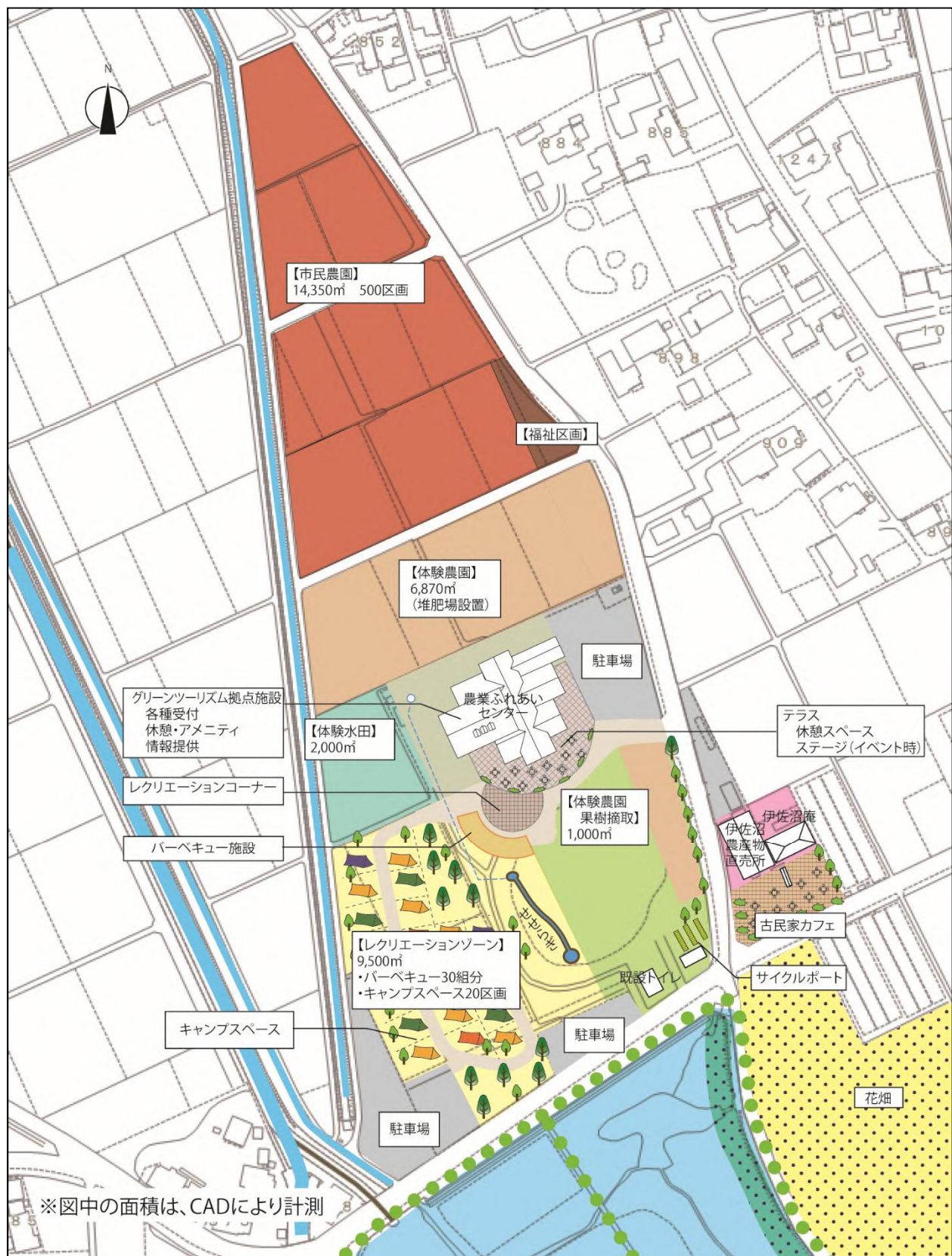
- ・伊佐沼の水辺の遊歩道整備（伊佐沼の東岸、南岸）
- ・伊佐沼農産物直売所改修整備
- ・伊佐沼庵改修整備
- ・花畑整備



5 グリーンツーリズムの拠点施設整備と伊佐沼周辺施設等との連携



6 「蔵 in ガルテン川越」における配置案



体験農園	6,870 m ²	市民農園（福祉区画等含む）	14,350 m ²
体験農園（果樹）	1,000 m ²	農業ふれあいセンター及び広場（駐車場除く）	19,590 m ²
体験水田	2,000 m ²	うちレクリエーションゾーン	9,500 m ²
伊佐沼直売所（庭含む）	1,207 m ²	駐車場・駐輪場等（センター協含む）	5,300 m ²
伊佐沼庵（庭含む）	1,097 m ²		
合 計			51,414 m ²

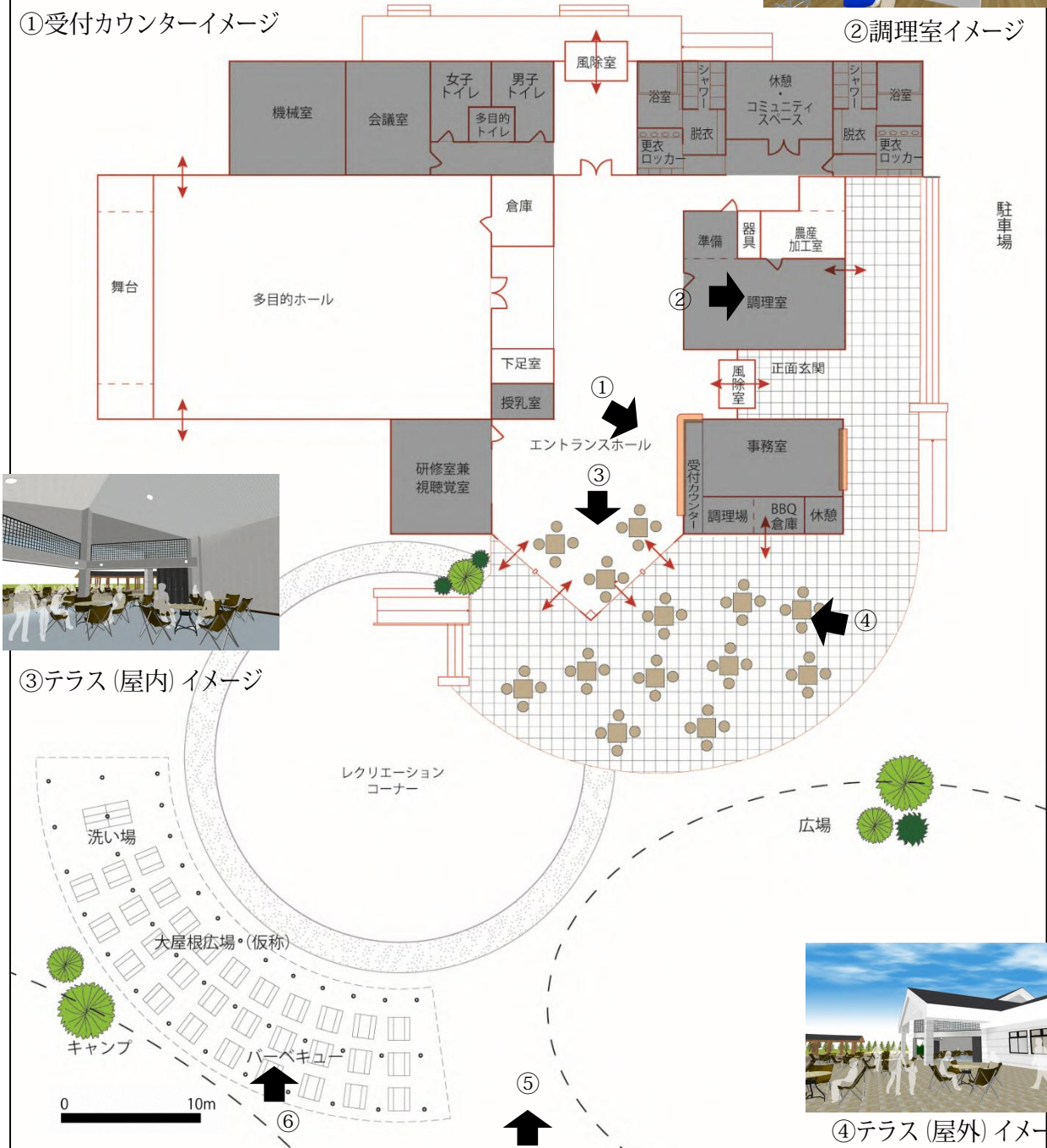
7 グリーンツーリズム拠点施設（農業ふれあいセンター）の 改修整備イメージ



①受付カウンターイメージ



②調理室イメージ



⑥バーベキューイメージ



⑤広場からのながめ



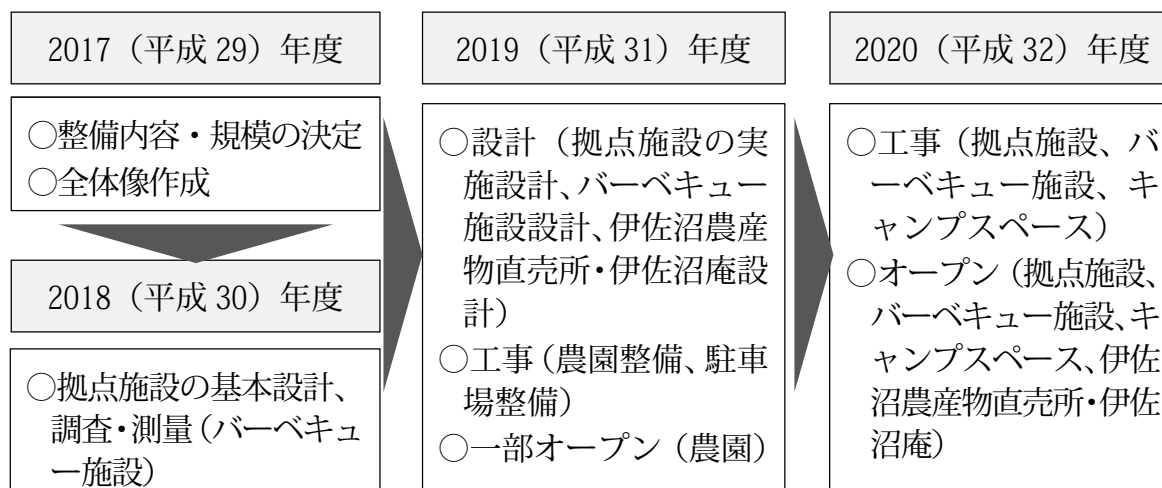
休憩スペースを活用した
テラスコンサートイメージ

8 概算事業費の試算

単位:千円

項目	費用
グリーンツーリズム拠点施設整備 (農業ふれあいセンターの改修)	435,650
レクリエーションゾーン整備 (バーベキュー「大屋根広場(仮称)」、キャンプスペース等)	201,370
その他 (体験農園等の拡張整備、伊佐沼農産物直売所改修整備、 伊佐沼庵改修整備、駐車場整備)	39,140
合 計	676,160

9 想定事業スケジュール



蔵 in ガルテン川越 グリーンツーリズム拠点整備計画 概要版 平成 30 年 3 月

川越市 産業観光部農政課

電 話：049-224-5939（直通）

F A X：049-224-8712

E-mail：nosei@city.kawagoe.saitama.jp